

2023年8月31日  
科学技術振興機構（JST）

## 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）

### 第3期課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」 における研究開発責任者の決定について

JST（理事長 橋本 和仁）が研究推進法人をつとめる戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」の研究開発責任者が決定しました。戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）は、総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）が、社会的に不可欠でかつ日本の経済・産業競争力にとって重要な課題を特定し、課題ごとにPD（プログラムディレクター）を選定し、基礎研究から出口（実用化・事業化）までを見据え、さらに規制・制度改革や特区制度のほか、知財の活用も視野に推進していく府省・分野の枠を超えた横断型のプログラムです。

今回、SIP第3期課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」のサブ課題A「新たな『学び』」のデザイン開発、サブ課題B「新たな『学び』」と働き方との接続、サブ課題C「新たな『学び』」と働き方の空間の創出、サブ課題D「新たな『学び』」×働き方×バーチャル空間の有効性確認（ショーケースの提示）における研究開発テーマの研究開発責任者について、令和5年4月25日（火）～5月24日（水）に公募を行い、合計36件の応募がありました。公募締め切り後、JSTにおいて書類・面接審査会を開催し選考を実施しました。その結果を基にPD（西村 訓弘、三重大学大学院地域イノベーション学研究科 教授・特命副学長）および内閣府了承を経て、研究開発責任者13名が決定いたしました（別紙1）。

なお、本SIPの課題の取組については下記Webサイトをご参照ください。

URL：<https://www.jst.go.jp/sip/pos/index.html>

#### <添付資料>

○ SIP第3期課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」

別紙1：新規採択研究開発テーマおよび研究開発責任者

別紙2：実施体制図

別紙3：2023年度研究開発責任者公募 評価者一覧

別紙4：2023年度研究開発責任者公募 評価基準

#### <お問い合わせ先>

国立研究開発法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター(RISTEX) 企画運営室

〒102-8666 東京都千代田区四番町 5-3 サイエンスプラザ

Tel：03-5214-0132 Fax：03-5214-0140

E-mail：[sip3-ristex@jst.go.jp](mailto:sip3-ristex@jst.go.jp)

**S I P 第3期課題 | ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」**  
**新規採択研究開発テーマおよび研究開発責任者**

研究開発テーマ名	研究開発責任者
D&I 社会実現のための学び方・働き方に関する実証研究	石井クンツ 昌子 (お茶の水女子大学 理事・副学長)
主体性を醸成する生涯学習プラットフォーム構築と「知」の総合化	大島 俊一郎 (高知大学 教育研究部総合科学系黒潮圏科学部門教授)
デジタルツインを用いた個別最適な学び方・働き方の実現	緒方 広明 (京都大学 学術情報メディアセンター 教授)
デジタル・シティズンシップ・シティ：公共的対話のための学校	草原 和博 (広島大学 人間社会科学研究科(教) 教授)
オンライン教育およびテレワークにおける、限りなくリアルに近い「場」を実現するバーチャル空間の研究開発	田澤 由利 (株式会社テレワークマネジメント 代表取締役)
共創的实践で社会を変革する博士人材育成プログラム－大学院リーグのプロトタイプと実装－	永井 由佳里 (北陸先端科学技術大学院大学 理事)
バーチャル空間を活用した特別支援教育に特化した教員職能開発	能智 正博 (東京大学 大学院教育学研究科(教育学部) 教授)
北海道における産業活性化および雇用創出に繋がる社会人の学び直しのための基盤の構築と実証	長谷山 美紀 (北海道大学 副学長・データ駆動型融合研究創発拠点 拠点長)
誰もがいつまでもhappy work可能なバーチャル空間構築	原田 悦子 (筑波大学 人間系 教授)
真正で探究的な学びを実現する教育コンテンツと評価手法の開発	松下 佳代 (京都大学 教育学研究科 教授)
Society5.0時代の農業における「新たな『学び』」×働き方」のショーケースの提示と実証	山中 真也 (室蘭工業大学 大学院工学研究科 教授)
自分らしく生き、自分の意志で決定できる社会をつくる学びの北海道モデルの構築と展開	吉野 正則 (北海道大学 産学・地域協働推進機構 特任教授)
重度障害者のインタフェース革新による地域教育就労モデルの構築	依田 育士 (国立研究開発法人産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門 主任研究員)

※研究開発テーマ名は調整中であり、変更される場合があります。

# 実施体制図 各サブ課題を担う研究開発責任者一覧

(敬称略) ※赤：テーマ担当(主) 青：テーマ担当(副)

## サブ課題A 「新たな『学び』」のデザイン開発

a-1 アップスキルとリスキルのための教育コンテンツの開発 (デジタル・STEAM等に係る知識)		a-2 探究力・主体性・創造性・協働性を高める教育コンテンツの開発	
1 STEAM教育のためのコンテンツプラットフォームの構築 京大 緒方	2 デジタルリスキリングの教育手法の開発 京大 松下 / 北大 長谷山	1 学校教育における探究力・主体性・創造性・協働性を高める教育コンテンツの開発 京大 松下 / 広大 草原 / 京大 緒方 / 高知大 大島 / 北大 吉野	
a-3 学習データの取得・連結・活用 (w/ELSI)		a-4 「新たな『学び』」に対応した評価手法の開発	
1 学習データの取得・連結・活用手法の開発 京大 緒方	2 データ取得等に係るELSI的観点での研究開発 京大 緒方	1 「新たな『学び』」に対応した評価手法の開発 京大 緒方 / 京大 松下	

## サブ課題D 「新たな『学び』」×働き方×バーチャル空間における有効性確認 (ショーケースの提示)

d-1 新たな学び方・働き方を可能とする場(プラットフォーム)の構築及び当該場(プラットフォーム)を活用した取組に係る効果検証		
1 初等中等教育を中心とした「新たな『学び』」の場(プラットフォーム)の構築及び効果検証 北大 吉野 / 京大 緒方	2 教育機関と地域・社会との接続による「新たな『学び』」の場(プラットフォーム)の構築及び効果検証 北大 長谷山	3 教育機関と地域・社会との接続による新たな働き方の場(プラットフォーム)の構築及び効果検証 室工大 山中 / 北大 吉野

## サブ課題B 「新たな『学び』」と働き方との接続

b-1 多様な働き方モデルの構築及び「新たな『学び』」を担うメンター制度のさらなる推進、D&Iの社会浸透	
1 教育と就労の連結による働き方モデル提示に係る研究開発・実証 高知大 大島 / 京大 緒方 / 広大 草原 / 筑波大 原田	2 D&Iの社会浸透に向けた実証研究 お茶大 石井 / 産総研 依田 / 高知大 大島 / 筑波大 原田
b-2 イノベーション人材の育成、社会人のリカレント、リスキリング	
1 総合知で社会を変える博士人材育成プログラムの実証 北陸先端科学技術大学院大 永井	2 サバティカルやワーケーションを活用した社会人の学び直しのインセンティブの研究 高知大 大島

## サブ課題C 「新たな『学び』」と働き方の空間の創出

c-1 ギャップフリーなバーチャル空間の実現	
1 「働き方」におけるバーチャル空間の開発 (株)テレワークマネージメント 田澤 / 筑波大 原田	2 「学び方」におけるバーチャル空間の開発 京大 緒方 / 筑波大 原田
c-2 バーチャル空間における学習コンテンツの開発	
1 バーチャル空間を活用した学習コンテンツの開発・実証 東大 能智 / 京大 緒方 / 広大 草原 / 筑波大 原田	

**SIP 第3期課題**  
**「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」**  
**2023年度研究開発責任者公募 評価者一覧**

氏名	所属
西村 訓弘 (PD*)	三重大学 大学院地域イノベーション学研究科 教授・特命副学長
野城 智也 (SPD*)	高知県公立大学法人 高知工科大学 システム工学群 教授
西岡 加名恵 (SPD*)	京都大学 大学院教育学研究科 教授
東 博暢 (SPD*)	株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 プリンシパル
大山 潤爾 (SPD*)	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 主任研究員
村上 絵莉 (PM*)	国立研究開発法人 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 企画運営室 企画・SIPグループ プロジェクトマネージャー
北野 允	内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 大学改革・ファンド室 参事官
小柳 和喜雄	関西大学 総合情報学部 教授
鈴木 華子	立命館大学 総合心理学部 准教授
田村 知子	大阪教育大学 連合教職実践研究科 教授
千葉 和義	お茶の水女子大学 基幹研究院 教授
永島 絹代	東京都港区立みなと科学館 教育普及チームリーダー
平林 正樹	順天堂大学 国際教養学部 特任教授
松田 譲	公益財団法人 加藤記念バイオサイエンス振興財団 名誉理事
和田 真	国立障害者リハビリテーションセンター 脳機能系障害研究部 発達障害研究室長

\*PD：プログラムディレクター、SPD：サブプログラムディレクター、  
PM：プロジェクトマネージャー

## SIP 第3期課題

## 「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」

## 2023年度研究開発責任者公募 評価基準

- (1) SIPの趣旨に合致していること
  - ・Society 5.0の実現に寄与するか。
  - ・分野横断的な取組であるか。
  - ・社会実装までを見据えた研究開発であるか。
  - ・産学官連携体制が構築され、民間企業等の積極的な協力が得られる仕組みを有しているか。
- (2) 本課題の趣旨に合致していること
  - ・本課題の戦略及び計画に記載ある将来像及びミッションに対し、相応しい貢献が期待できるか。
  - ・本課題の戦略及び計画に記載ある研究開発目標に対し、相応しい貢献が期待できるか。
- (3) 提案内容が具体的かつ明確であること
  - ・目標・計画が具体的かつ明確であり、実現性が高いか。
  - ・研究開発体制が適切に組織され、役割分担や配置が明確に構造化されているか。
  - ・社会実装に向けた戦略が具体的かつ明確であるか。
  - ・研究開発予算・実施規模が妥当であるか。
- (4) 提案内容に工夫があること
  - ・国内外の類似の取組と比較し、独創性や新規性があるか。
  - ・研究開発テーマ間での連携等、シナジー効果が期待できるか。
- (5) PDが求める人物像に合致していること
  - ・戦略及び計画に掲げる将来像とミッションに共感し、その実現に向けて、高い志を持ってやりきる覚悟があるか。
  - ・圧倒的な当事者意識を持ち、自らが関わっている現場を変えることで理想的な在り方を模索し、理想を現実に変える行動力があるか。
  - ・個々の研究開発に専念するだけでなく、高い視座と広い視野を持って、本課題の関係者と協力し合い、より高い成果を出すことにチャレンジするマインドを持っているか。

以上